

赤平の炭鉱遺産、見所は？



空知地方に数多く残る炭鉱遺産。

その中で、赤平の炭鉱遺産の特徴とは何だろうか？

「これだけは観るべき!」というポイントを、

NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 事務局長の

酒井裕司さんに聞いてみた。

【旧住友赤平立坑】

地図記号p13—①

立坑とは、深部開発を目的に建設された深さ650mのエレベーター、通気や運搬、採掘などの合理的な骨格構造の中心となる設備。住友赤平立坑は、昭和30年代の高度成長による原料炭需要増加の要請に応じて、昭和34年(1959年)に着工。完成時、赤いネオンが灯り、東洋一とうたわれた。



旧住友赤平立坑は、日本の中で、多分一番良い状態で保存されている立坑だと思います。1994年というかなり最近まで稼働していたことと、住友石炭鉱業株式会社(現 住友マテリアルズ株式会社)が土地も建物もまだ保有し、一部は事務所として使用もされていることなどが、壊さず残っている理由として大きいです。北海道の炭鉱の場合は明治から掘っていますが、最初のうちはこういう大型の立坑は作っていません。炭鉱産業がピークを迎えた昭和30年代に、炭鉱各社が効率化、また深部開発に生き残りをかけて建設したのが、大量採掘が可能な立坑だったわけです。旧住友赤平立坑には、当時の最先端技術が詰まされた機械や電気系統などが稼働時のまま残されており、現在でも一部の施設は動かすことができるといわれています。鉱車操作場や巻き室、繰込場などもほぼ完全なまま残され、立坑に隣接する事務所には膨大な量の坑内図、様々な資料が閉山時のまま保管されています。これらを見ることができるとは、かなり貴重でしょうね。

★立坑は外観のみ見学可。内部公開イベントは随時開催。
イベントに関する問い合わせ先:赤平コミュニティガイドクラブTANtan
080-5586-3450(加藤) / dosacchi@ybb.ne.jp / zuriyaman@ezweb.ne.jp

【自走枠工場】

地図記号p13—②

住友赤平炭鉱内で使用された大型の機械類100点ほどを、当時の写真や解説とともに展示。炭鉱人車、坑内トラクター、ボーリングマシン、コールカッター、チェンジコンベア、電ロコ、自走枠、リングカッター、シャトルカー、スパイラルロッドなどが保存されている。空気ドリルを実際に体験できるのは、空知地方だとこの赤平の自走枠工場のみ!



自走枠とは、地下数百メートルに配置されている坑内の採炭切羽の天盤を支え、より安全に、効率よく大量採炭するために作られた大型機械のこと。とても大きいので、一旦解体して坑内に運び、その場で坑内機械員が組み立てて使用していました。坑内では、自走枠が50台~100台並んで使われ、各自走枠は自ら前進していたそうです。実は、現在工場内に展示してある自走枠は、修理のため地上へ上げられていたもので、分解され放置されていたもの。それを、元坑内機械員だった方々が中心となり復元していきました。坑内で使用されていた機械類は、残っていたとしても、そのまま動かせることはまずありません。自走枠工場では空気ドリルを実際に体験できますが、それも元坑内機械員の方々がメンテナンスをしてくれるから。こういった人的資源が、赤平の何よりの特徴です。この自走枠工場は、彼らの経験や知識が詰まった「生きた博物館」と言えるでしょうね。

★自走枠工場、資料館の見学は要予約(入場無料)。
問い合わせ先:赤平市教育委員会社会教育課 0125-34-2311

【赤平市炭鉱歴史資料館】

地図記号p14—③

旧住友赤平炭鉱から閉山時に寄贈された膨大な数・種類の採炭用具、文化資料が、住友赤平小学校内に展示、収納されている。中には、住友赤平小学校の子どもたちが作った解説も。ところどころに展示してある、ゆるいお手製マネキンも必見。



とにかく圧倒されるほどの展示点数。元炭鉱マンの方の尽力で、普通なら捨てられてしまうようなものも、全部残っているところがすごい。ここには、P10で紹介している坑内の保安について紹介したマンガ『保安のしるべ』の古いバージョンのものが展示してあります。二つを見比べると、使用している道具や風俗も違って面白いですよ。あと、バッテリーメーカーが出していた保安の看板も要チェックです。坑内は火気厳禁だったため、機械類は全て電気が圧搾空気で動かしていました。当時のバッテリーメーカーの最大の顧客は、炭鉱。ちなみに、坑内では通常のカメラも使えません。シャッターを押したり、間違っって落としたりしたときでも絶対に火花が散らないよう、防爆型のカメラやフラッシュを持ち込んで撮影されていました。なので、残っている写真は、ほとんど全て会社側が撮影したもの。閉山後は処分されることが多いので、いろいろなところに展示してある写真の数々も、大変貴重な資料です。

NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 <http://www.soratan.com/>

